

活動報告

団体名	災害救援 レスキューアシスト
活動名	令和3年7月豪雨による熱海市土石流災害の被災者を守るための技術支援活動
活動期間	2021/07/23~2021/08/21
活動の成果	<p>土石流災害に遭った家屋の土砂の搬出や家屋の応急処置を行いました。多くの被災住民は突然の大きな災害に途方に暮れていました。重機で土砂や瓦礫を撤去し、道を確認しながら作業に取り掛かりました。家屋が片付いていく中で、途方に暮れていた住民の方の表情が少しずつ明るくなっていくのを見てホッとしました。また、公費での家の復旧が見込めない方でお金が準備できないから2階で寝ているが怖くて何とかしてほしいとの依頼で、家の補強などの応急処置を行いました。全壊や半壊の基準により、同じように住めなくなったとしても公的支援の差が出てしまいます。住民の方には安心して寝ていただけるように、出来る範囲の補強を行いました。</p> <p>8月に入り九州などでも被害の出た8月豪雨により、熱海にも雨の日が多くなり、そのたびにまた山から瓦礫が流れ出て、生活道路も危険な状態になっていました。多くの高齢者は川沿いの小さな路地を通るため、安全確保に努めました。水が流れ出るたびに不安定になっていた通路下の部分に補強を行い、安心して通行していただけるようになりました。</p> <p>活動を見て信頼していただけるようになり、地元の氏神を守る氏子の方々から、さい銭箱の修理の依頼を受けました。生活以外の事柄は災害現場ではどうしても後回しになってしまいます。代々守り継いできた大切なもので買い替えることはまた違うことなのだと氏子の方々からの熱心なお願いを受け、出来る限りの修理を行いました。出来上がったさい銭箱を見て、これで神様にも顔向けができるかと笑顔で感謝して下さったことが印象的でした。</p> <p>一ヶ月の短い間でしたが、途方に暮れる被災者の方々の笑顔を少しずつ取り戻せるお手伝いできたと感じています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>いつもご支援をいただき、ありがとうございます。</p> <p>令和3年7月豪雨により土石流が発生した瞬間の映像が何度も報道され、災害の恐るべき力に驚愕された方も多いと思います。ましてや目の前で自分たちの生活が流された方々の恐怖は計り知れるものではありません。今回の災害地区は行方不明者の捜索という優先すべき事柄や、立ち入り禁止地区で自宅に戻れない方も多くおられることから、非常にデリケートな活動となりました。その中でも、少しでも前を向いて進んでいただけるように寄り添った活動に努めることができたのも、ご支援をいただく皆様のお力添えがあってこそと考えます。今後もどうぞ応援、ご支援をよろしくお願いいたします。</p>

(活動のようす)

